

IMF「世界経済見通し」(2024年1月時点)

2024年1月31日

～IMFは2024年の世界の経済成長率見通しを上方修正～

◆ 概要

IMF（国際通貨基金）は1月30日に発表した「世界経済見通し」で、2024年の世界の経済成長率（実質GDP伸び率）見通しを3.1%と、2023年10月に示した前回の見通しから0.2ポイント上方修正し、景気を失速させずに物価上昇率を下げるソフトランディング（軟着陸）への道筋がみえたとしています。また、2025年の経済成長率見通しは3.2%と据え置きました。

IMFは、2024年の経済成長率見通しについて、先進国は1.5%、新興国は4.1%とそれぞれ0.1ポイント上方修正し、各国・地域ごとでは、米国・中国の見通しは上方修正、日本・ユーロ圏の見通しは下方修正しました。米国は、個人消費の強さ、中国は新規国債発行額の積み増しなどを理由に経済成長率見通しは上方修正され、日本は、2023年に成長を支えたコロナ禍からのリベンジ消費や企業投資の回復が一巡するとの見方から、ユーロ圏は2023年の成長実績が予想を下回った影響が持ち越されることが主な理由で、経済成長率の見通しは下方修正されました。

世界のインフレ率は2023年の6.8%から2024年には5.8%、2025年には4.4%に鈍化する見込みです。先進国の方が新興市場国・発展途上国よりもインフレ率が低下するスピードが速いと見込んでおり、先進国では2024年にインフレ率が2.0ポイント鈍化して2.6%になるのに対して、新興市場国と発展途上国では0.3ポイントの鈍化にとどまり8.1%になると予測されています。また、イエメンの親イラン武装組織フーシ派による紅海での攻撃や中東紛争の拡大など、地政学的衝撃や世界的な供給障害によって引き起こされる新たな商品価格高騰、高金利を長期化させるような執拗なインフレなどを下振れリスクに挙げました。

◆ IMF「世界経済見通し」(2024年1月時点)

	IMF見通し			
	2024年	前回比	2025年	前回比
世界	3.1%	0.2%	3.2%	0.0%
先進国	1.5%	0.1%	1.8%	0.0%
米国	2.1%	0.6%	1.7%	-0.1%
日本	0.9%	-0.1%	0.8%	0.2%
ユーロ圏	0.9%	-0.3%	1.7%	-0.1%
新興国	4.1%	0.1%	4.2%	0.1%
中国	4.6%	0.4%	4.1%	0.0%

(出所)IMFのデータをもとにJP投信株式会社作成

以上

【ご留意事項】

- 当資料は、JP投信が投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申し込みの際は、最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

JP投信

商号:JP投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 2879 号
加入協会:一般社団法人投資信託協会

- 当資料は、JP投信が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではなく、証券取引の勧誘を目的としたものでもありません。